



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号

受賞は学校の励み



応援団賞受賞について、応援総括責任者の太田好則先生からお話があった。その後は応援団長の永福剛史君(31)が全校生徒に向けてメッセージを贈った。



太田先生は、「入念に準備とが出来た。最優秀応援団賞を行ったうえで大会に臨むことがとれて感激している。野球部の皆さん、甲子園という晴れ舞台に連れて行ってあげて。皆さん、君たちののおかげで



全校生徒を前に話される太田先生

部、皆さん、甲子園という晴れ舞台に連れて行ってあげて。皆さん、君たちののおかげで、大会に取材に来られていたマスコミの

応援団賞をとることができた。応援団長の永福君とともに4月2日の閉会式に参加し、楯をもらってきた。その際に大会本部にあった応援団賞の審査表を見てきたが、『全てにおいて評価を頂いた。』

方や球場関係者など、様々な人から『あんなアルプス見たことない』という話を聞いたことや、対戦相手の習志野高校のアルプスからも感嘆の声が上がっていたことが先生から全校生徒に伝えられた。

先生の話の後、応援団長の永福君から「学校中が1つになったらこんな大きな力になるんだなと感じた。みんな一緒に頑張ってきたことが評価されてうれしく思う。応援団賞の楯は僕が代表としてもらってきたけれど、あの楯はアルプスで応援をしていた1人1人に贈られたものだと思ってる。あの素晴らしい応援はたくさんの方に支えてもらえたからできたんだと思う。春のセンバツから野球部は夏に向けてスタートをきったと思う。今度こそ赤鬼旋風を巻き起こせるように頑張っていきたい」という話があった。



閉会式に参加したことを報告する永福君



お土産を手に挨拶をする

始業式と報告会が行われた4月8日朝、野球部の大橋正明君(27)と松田将明君(21)が1年生の時に所属していた1年6組のクラスメートに「甲子園での応援ありがとうございました。お土産のクッキーが配られました。」

野球部からのお土産